



交通機関

JR水戸線 (25分) 岩瀬駅 → 本木西または大曾根バス停 (10分) 桜川市バス → 真壁城跡

*時間帯により、本木西バス停を経由しないバスがありますので、その際には大曾根バス停で下車ください。(R4.3月現在)

*バスの経路は変更される可能性がありますので、事前に桜川市または関鉄パープルバスのホームページでご確認をお願いします。

ダイヤ等問合せ先 JR東日本 (050-2016-1600), 関鉄パープルバス (0296-30-5071)

行事

○真壁のひなまつり (真壁市街)	2月4日～3月3日
○マダラ鬼神祭 (雨引山楽法寺)	4月中旬
○あじさい祭 (雨引山楽法寺)	6月10日～7月20日
○火渉祭 (加波山三枝祇神社)	冬至
○桜川の桜まつり (櫻川磯部稻村神社・磯部桜川公園・高峯のヤマザクラ・雨引観音)	3月下旬～4月上旬

楽しいハイキングのために

- 野の花や木は、自然の中でこそ美しいのです。自然のままで残しましょう。
- 歩きながらの「タバコ」はやめましょう。火の元には十分注意しましょう。
- あとから来る人のために、自分のごみは自分で持ち帰りましょう。
- 案内板や標識はみんなの道しるべです。大切にしましょう。
- 交通の不便なところがあります。あらかじめよく調べておきましょう。

コースのみどころ

このみちは…

雨引休憩所（旧雨引駅）から、加波山、足尾山を経て真壁休憩所（旧真壁駅バス停）を結ぶこのコースは、雨引観音などの古刹を訪ねながら、起伏の多い筑波連山を縦走し自然を満喫できる、延長約20kmの健脚向きの歩道です。

雨引観音

雨引山（標高409m）の中腹にある真言宗豊山派の寺で、正式名称を雨引山楽法寺といいます。坂東33観音巡りの24番札所として古くから参詣者が多く、安産、子育ての観音様としても親しまれています。

加波山

標高709m。古くから信仰の山として知られ、山頂には真言密教の修行である加波山禪定の行われる禪定場、加波山神社の奥宮や拝殿があり、西麓には里宮があります。山頂近くには、明治17年（1884年）自由党急進派が自由民権を唱えて立てこもった、いわゆる「加波山事件」の挙兵のときに旗を立てた「旗立石」の碑が残っています。

真壁城跡

中世、真壁・大和周辺を治めた真壁氏が築いた城跡。山裾に造られた平山城で、四重の堀や土塁が良好な状態で残され、平成6年に国の史跡に指定されています。

真壁の町並み

戦国時代の真壁城下町を起源とし、現在も大きく変わらない町割りの上に、江戸時代末期から昭和前期の見世蔵や町家、土蔵、門など多様な伝統的建造物が並びます。旧真壁郵便局などの登録有形文化財は100棟を超え、中心部は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

足尾山神社

草履やわらじを奉納する風習があります。延喜20年(920)頃に醍醐天皇が足病消除祈願のため与えた勅額が野火で焼失したが、寛正5年(1646)に御所へお願いしたところ、勅額と菊の紋入り漱石が与えられ、以降足の病を治す神として信仰が高まったといわれています。

[このコースに関するお問い合わせ]

茨城県 県民生活環境部 環境政策課

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL 029-301-2946

桜川市 経済部 商工観光課

〒300-4495 茨城県桜川市真壁町飯塚911 TEL 0296-55-1111

ここに記載した情報は、変更等の可能性がありますので、利用される場合は事前に確認をお願いします。



首都圏自然歩道

関東ふれあいの道

茨城県 ⑧ 筑波連山縦走のみち(1)

雨引休憩所～真壁休憩所
(旧雨引駅) (旧真壁駅バス停)



つばら台から望む加波山

関東ふれあいの道は、
首都圏に残された美しい自然や歴史遺産などを"みち"で結び、
首都圏を一周する長距離自然歩道です。

茨城県内のルートは、常陸大宮市の御前山県立自然公園、笠間県立自然公園、水郷筑波国定公園や筑波研究学園都市を経て、稲敷市に至る延長約255kmで18コースにより構成されています。

家族や友人と一緒に歩いてみませんか。





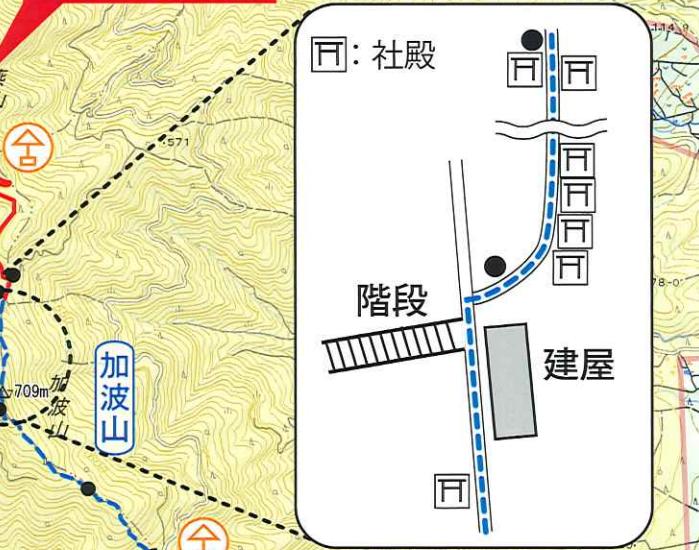
茨城県
コース8

関東ふれあいの道
筑波連山縦走のみち(1)



茨城県
コース8

関東ふれあいの道
筑波連山縦走のみち(1)



凡 例	
-----	筑波山連山縦走のみち(1) (歩道)
———	筑波山連山縦走のみち(1) (車道・林道)
———	関東ふれあいの道 (接続コース)
□	起終点
●	指導標
○	休憩所
○ P	トイレ
○ P	駐車場
○	バス停留所
■	水郷筑波国定公園